

No. 教科 発表者	学部学年 グループ	単元名	教材名・ねらい・使用方法、良かった点など (文章、図、写真)
① 道徳 (高)	高等部 1年 (6グループ)	様々な人の 考え方を知 ろう	教材名: トーキングゲーム(カードを使った心理ゲーム) ねらい: 人間関係を深める(コミュニケーションスキルを高める) 使用方法: ①ゲーム本来のルールに沿って活動する。 ②質問の内容にどんな答えを出すかを考える。 ③質問の答えに対して質問し、会話を広げる。 ④質問項目をテーマに、みんなで話し合い(討論)をする。 良かった点: 上記の内容以外にもアイデア次第で幅を広げた活動ができる。
② 保健体育 (高)	高等部 1年 (2グループ)	球技	教材名: ローリングテニス ねらい: 安全に道具を使用する 使用方法: バドミントンコートを使用して、テニスラケットを使い、ボールを打つ。 良かった点: 友だちと協力して相手コートに返球する。視野を広げられる。
③ 職業 (縫製) (高)	高等部 2・3年 (1グループ)	さをり織り	教材名: さをり織り ねらい: 手足の連動、巧緻性を高める 使用方法: タテ糸にヨコ糸を入れて、布を織りあげる。 良かった点: ヨコ糸は、自分の好きな色糸を選んで、自由に織り上げることができる。
④ 国社外 (中)	中学部 1年 II G	文字を見分 けよう	教材名: 目のトレーニング ねらい: 目の使い方のトレーニング(動体視力)、文字の弁別 使用方法: アプリ「ビジョン・パーク」を使った動く文字を打つ野球ゲームを活用した実践である。 文字の弁別、目の使い方、目と手の協応のトレーニングになる。 良かった点: 学習に対する意欲を高め、集中力もつけることができた。
⑤ 音楽 (中)	中学部全 体	鑑賞	教材名: クリスマスコンサート・スプリングコンサート ねらい: 鑑賞の態度を養う 使用方法: 事前にチケットを渡し、そこに書いてある席を探して座る。チケットと引き換えにプログラムをもらい、本当のコンサートに近い形をとる。 良かった点: 生徒はいつもと違う雰囲気を感じ取り、鑑賞の態度が年々よくなっていった。

⑥ 数理 (中)	中学部 1年 (Ⅲa グル ープ)	アルミ玉で 電磁波をキ ャッチしよ う。	準備物: アルミホイル、電子ライター、ミノムシクリップ、電池ボックス、透明コップ、紙コップ、カッター、セロハンテープ、単3電池、プロペラ など 良かった点: 目に見えない電磁波を利用して、プロペラが回ったり、電気がついたりすることで、科学のおどろきを伝えることができた。
⑦ 音楽 (小)	小学部 1 年 (ねこグル ープ)	身体や楽器 で音を出そ う	教材名: 電車ごっこ 準備物: 鈴付きフープ、ミュージックパッド、線路、踏切 ねらい: 鈴付きフープを繋げて電車のようにすることで、電車ごっこを楽しみながら、楽器の音を鳴らす 良かった点: フープに鈴を付けたことで、自分で楽器を持ち続けられない児童でも音を鳴らすことができた。
⑧ 図工 (小)	小学部 1 年	身の回りの 素材で遊ぼ う	教材名: 絵の具遊び ねらい: 様々な素材に触れる、絵の具を使って、色の混ざり合う様子を楽しむ 良かった点: 新しいものや汚れるものを触ってみることに抵抗のある児童が、自ら素材に触れるきっかけになった。
⑨ 音楽 (小)	小学部 2 年	手作り楽器 を使って合 奏をしよう	教材名: 手作り楽器(ペットボトルマラカス、トレイシンバル) ねらい: 自分で作ることにより、楽器に愛着を持ち大切に扱う、楽器を鳴らす楽しさを味わう 良かった点: 完成するとすぐに音を鳴らそうとする児童が多く、合奏への意欲が高まっていた。
⑩ 自立活動 (小)	小学部 1 ～6 年	区分:人間 関係、コミ ュニケーシ ョン、体の 動き	教材名: わにわにパニック ねらい: 目的のものを「見る」活動、目と手の協応 使用方法: 「わにを動かす役」「たたく役」など、友だち同士で役割分担を話し合っ決めて決める。活動の中で勝ち負けを意識する。 良かった点: 友だちと協力した遊びに発展させられる。ゆっくりな動きに調整すれば、誰でも「見る」課題として取り組める。
⑪ 自立活動 (小)	小学部 3 年	区分:身体 の動き	教材名: ボタンつけはずし、バックルつけはずし、ひも通し等 ねらい: 日常生活に必要な動作を、楽しみながら身につける 良かった点: アイスを積み上げる、電車を連結させる等をテーマにした教材のため、楽しみながら取り組むことができています。

⑫ 音楽 (小)	小学部 3 年	手遊び	<p>教材名:なつとうなつとうねばねば</p> <p>ねらい:教員の動きを見て、曲に合わせて体を動かそうとする</p> <p>良かった点:楽しそうに曲に合わせて体を動かそうとしていた。</p>
⑬ 生活 (小)	小学部 4 年	手洗いをし よう	<p>教材名:魔法の水実験</p> <p>ねらい:感染症予防の基本として、どうしたら効果のある洗い方ができるかを学ぶ</p> <p>良かった点:手のどこが洗えていないのかを、視覚的に確認することができる。</p>
⑭ 言葉・数 (小)	小学部 4 年	おべんとう ばす	<p>教材名:おべんとうばす</p> <p>ねらい:30までの数量理解</p> <p>使用方法:1人ずつどのキャラクターのカードを使用するか教員に伝える。手元にシートとキャラクターカードを用意し、教員が前に掲示した数字を見て、声を出して数えながら同じ数を貼る。できたら教員に「できました」と掲げて見せる。</p> <p>良かった点:「おべんとうばすのかくれんぼ」という絵本で読み聞かせをし、文字を書くなど教科横断的に活用している。1つずつ自分で操作することで待ち時間も減り集中して取り組んでいる。</p>
⑮ 情報 (中)	中学部 2 年	Class room 体験コーナ ー	<p>iPad のアプリ Class room を使って、教員の iPad から児童・生徒の iPad に課題を配付し、回収、提出、返却、再提出、ポートフォリオ化という流れを教員側、児童生徒側双方の立場から体験する。(実際の中2の授業では課題に対して時間をかけて取り組む生徒については iPad を教室に持ち帰り、給食を食べた後に完成させて提出→主担者の端末に通知が来て即時採点、返却ということも行っている。)</p>